



© 2010 熊本県くまモン



今月の表紙

りんどうヶ丘小学校3・4年生はサプライズ登場したくまモンと一緒に稲刈りを体験。市原保育園児はお弁当を持って中原保育園に芋掘り遠足に行き、実りの秋を満喫しました。



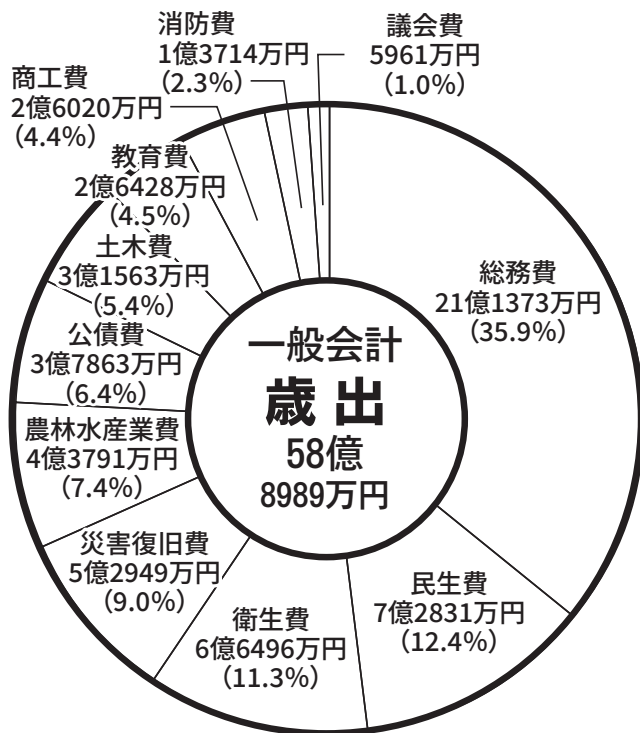
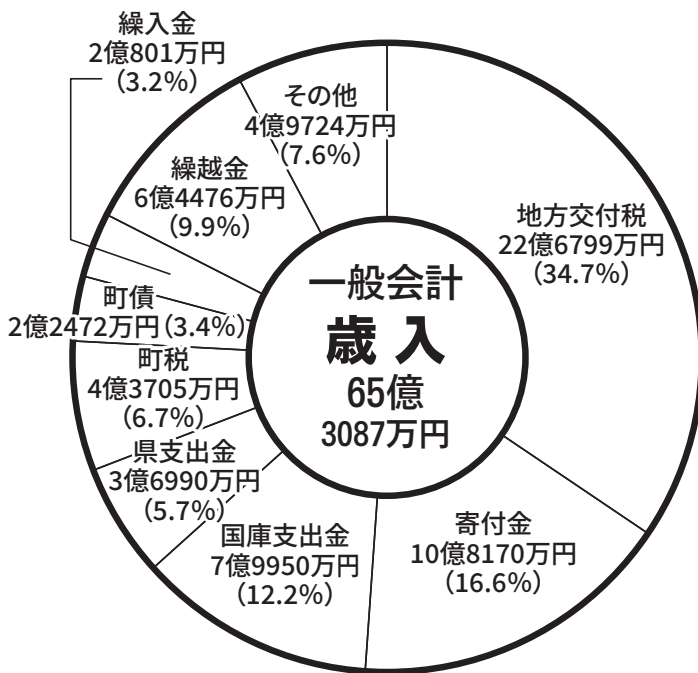
令和4年度 決算認定

令和5年第3回南小国町議会（定例会）が9月12日に召集され、9月15日までの会期で開かれました。町長から提出のあった主な議案は、令和4年度南小国町健全化比率及び資金不足比率の報告案件のほか、人権擁護委員候補者の推薦などの人事案件2件、その他2件（町道路線の廃止・認定）、令和5年度一般会計補正予算などの予算案件が8件、令和4年度一般会

計歳入歳出決算認定などの認定案件が8件あり、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決、認定しました。

●決算概要

歳入から歳出を差し引くと6億4098万円となります。差引額の中に翌年度への繰越財源として1億9660万円が含まれているので、これを差し引いた4億4438万円が黒字となり、翌年度に繰り越されました。



基金残高

基金名	4年度末残高
財政調整基金	16億1281万円
ふるさと納税基金	10億1150万円
きよらの郷づくり基金	1億5274万円
地域福祉基金	1億5885万円
CATV放送設備等整備基金	8124万円
一般会計その他基金	5418万円
特別会計基金合計	1億9536万円
合計	32億6668万円

町債（借入金）残高

区分	4年度末残高
公営住宅建設事業債	4618万円
災害復旧事業債	2億7882万円
教育・福祉施設等整備事業債	6290万円
一般単独事業債	7923万円
過疎対策事業債	13億4114万円
臨時財政対策債	11億8648万円
一般会計その他	3338万円
特別会計合計	16億3232万円
合計	46億6045万円

特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出	収支額
国民健康保険特別会計	5億9847万円	5億9272万円	575万円
後期高齢者医療特別会計	6656万円	6613万円	43万円
介護保険特別会計	6億6215万円	6億4327万円	1888万円
水道事業特別会計	1億8495万円	1億3927万円	4568万円
農業集落排水事業特別会計	3312万円	3169万円	143万円
特定地域生活排水処理事業特別会計	2026万円	1963万円	63万円
公共下水道事業特別会計	1億4353万円	1億3932万円	421万円
合計	17億904万円	16億3203万円	7701万円

※表示単位未満四捨五入のため、合計や収支額が一致しない場合があります。

こんなことに使われました

令和4年度に実施された主な事業は、次のとおりです。

町民向け商品券

1億5366万円
(商工費)



町道改良工事

9419万円
(土木費)



コンビニ交付サービス

836万円
(総務費)



公共土木災害復旧工事

4億547万円
(災害復旧費)



ふるさと納税事業

5億6663万
(総務費)



森林資源解析業務委託

1914万円
(農林水産業費)



道路メンテナンス事業

2415万円
(土木費)



予防接種委託料

2690万円
(衛生費)



飼料・燃料費高騰対策補助金

4154万円
(農林水産業費)



人材還流促進事業 (しごとコンビニ)

2400万円
(総務費)



中学校空調設備設置工事

682万円
(教育費)



価格高騰緊急支援給付金

2705万円
(民生費)



監査意見書 (抜粋)

代表監査委員 石橋 正寿 議選監査委員 井野 和哉

- ①財政健全化審査については、昨年度に比べ経常収支比率、実質公債費比率が上昇しているが概ね良好といえる。将来負担比率については3年連続比率がゼロとなった。しかし令和4年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害関連災害復旧事業、物価高騰への様々な対策や施策がとられてきた。将来大規模な事業実施が行われる予定であり公債費、繰出金等の増加が懸念され、一般財源である財政調整基金の推移も気になるところである。本年度10億円超の実績となったふるさと納税も制度改正等により減収が見込まれている。今後個々の要因を分析し、抑制に向けた適正な財政管理を行っていただきたい。
 - ②税と保険料・使用料及び負担金等の徴収については、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和したことにより町税等において増収となっているが、科目によっては徴収率の低下が見られる。悪質な滞納者については引き続きこれまでのような法的措置をとるなど、徴収業務の更なる強化をお願いしたい。支払い能力が無いわけではない少額滞納者も依然存在しており、そのような滞納者には滞納額が増える前に、口座振替制度やコンビニ納付などを積極的に推進してもらいたい。今まで以上に担当課・局間の連携に期待する。
 - ③歳出に多額の不用額が発生している科目が見受けられる。限られた財源の中、長期化する新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策などに有効活用するためにも、繰越明許などやむを得ないものもあると思うが、実施困難となったものなど早めの対応が可能なのは、年度途中の減額補正など適切な財政処理を望む。
 - ④伝票監査においては、請求書に記載される作業内容や購入内容が簡略化されたものや決裁印の漏れが見受けられた。数量や算出根拠などが分かるよう明細等の記載をお願いしたい。また確認体制の強化を徹底し、事務処理ミスの防止に努めてもらいたい。併せて、債権者への指導もお願いしたい。
 - ⑤新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策等の様々な事業が実施され、職員の負担も増加しているように思える。今後も専門職員の確保等、職員の負担軽減対策を講じていただきたい。
- 最後に、新型コロナウイルス感染症の影響がいまだ残る中、少子高齢化、原油価格・物価高騰など懸念材料が多数存在し、その中で各種事業を実施していくには課題が山積しているように思える。より計画的かつ効果的な行財政運営を願う。

令和5年8月18日
第4回臨時会

●補正予算

8月臨時会では2議案が提出され、一般会計補正予算（第4号）は、歳入歳出予算の総額に4320万円を追加し、総額52億3894万円となり、可決しました。

◆公共下水道事業補正予算（第2号）
（原案可決）

令和5年9月
第3回定例会

令和5年度9月補正予算

総額4億5573万円を可決

	9月補正額	補正後予算総額
一般会計	3億8285万円	56億2179万円
特別会計 （7会計）	7289万円	17億1665万円

*千円未満四捨五入のため合計額が一致しない場合があります。

●一般会計補正予算（第5号）

主な審議

○ツール・ド・九州関連事業

▼井野議員 委託業者はどうか。安全対策を含め町民へのアピールはどのように進めていくのか。

答 県が旗振り役となって準備を進めている。スタート地点を盛り上げるための費用として予算計上した。委託先はテレビ熊本。町の特産品や観光地のPR動画を作成し、YouTubeでも配信する。大型バス6台を使って120名ほど送迎し、開会式を盛りあげたい。警備や安全対策については、町の方から主催者側にしっかりと伝えたい。

○社会福祉協議会補助金
▼穴井秀房議員 人件費の負担見直しということだが、なぜ今の時期なのか。

答 社会福祉協議会（事務局）に人件費の補助金として、7割程度にあたる2200万円を交付している。りんどろの荘の利用料収入の落ち込みを受けて、不足分を補う必要があり200万円計上させていた。

○広報・営業関連委託料
▼佐藤議員 営業・広報の

主な補正予算 (万円)

財政調整基金積立金	2億219
町民向け商品券発行事業補助金	9390
飼料・燃料費高騰対策補助金	5000
観光プロモーション事業委託料	1569
南小国町広報・営業関連委託料	458
社会福祉協議会補助金	200
高齢者施設等物価高騰対策補助金	159
ツール・ド・九州関連事業委託料	121

プロジェクトチーム委託料ということだが、目的は。

答 委託先は株式会社SMO南小国。「黒川温泉は知っているが南小国町は知らない」と、なかなか南小国町のPRができていないと感じていた。特色ある名刺や統一したユニホーム（法被）の作成を考えている。また役場職員やSMO職員と一緒に生産者の方々に都市圏（東京・大阪・福岡）に出向いてもらって農産物等のPRができないかも考えている。

○観光プロモーション事業
▼佐藤議員 なぜ、この時期を選んで打たれるのか。

答 現在、楽天側と事業展開を考えている。マーケティング力や観光関連データ等を豊富に持ち合わせており、ノウハウを役場職員やSMO職員に勉強させた。将来的には包括連携協定も考えている。

▼佐藤議員 データ等を集めるのは難しいと認識している。楽天側が持つ情報等を共有して、南小国町のPRや観光客誘致につながれば良いことだと思う。今後注視していきたい。

○町民向け商品券発行事業
▼森永議員 現金支給は考えなかったのか。金額や使用期限は。

答 現金の方が使い勝手が良いのは理解できるが、生活支援だけでなく商工振興という側面もある。今回も町内事業者を限定とした「くらし応援券」での支給を考えている。一人あたり2万円分、使用期限は来年度の1月末日まで。また合わせて、LPガス価格高騰対応支援分として1世帯あたり6000円分の「くらし応援券」を契約世帯に支給する。

○飼料・燃料費高騰対策事業

▼穴井秀房議員 今後の予定は。補助開始日等は。

答 できるだけ早く開始したい。準備が出来しだい、広報やみなみチャンネル、LINE等で周知を行う。（10月11日受付開始）

▼井野議員 昨年度は2度にわたり補助を実施した。今回の補助内容は。

答 8項目（種苗費・素畜費・肥料費・飼料費・農薬衛生費・諸材料費・動力光熱費・荷造運賃手数料）を対象としている。令和4年分町県民税申告書（または確定申告）の収支内訳書（農業所得用）中、合計額の1割、上限額200万円。

○保育園連絡ツール

▼森永議員 LINE等の導入で保護者や先生方の負担軽減や利便性が高まっている。さらなる負担軽減、利便性の向上に連絡帳アプリの導入は。

答 今回の通信運搬費の増額は、LINEでは利用件数に制限があったため、学校でも利用されている「安心メール」に変更するもの。連絡帳アプリについては、保育園の先生方と協議しながら進めていきたい。

○高齢者施設物価高騰対策

▼井野議員 高齢者施設等3法人に対する補助金ということがあるが、補助割合等は。

【答】 南小国町社会福祉協議会・社会福祉法人昭寿会・居宅介護支援事業所 銀の鈴に対して補助金交付するもの。同様の補助制度を行う県の算定基準に準拠。(社協 11万2000円、昭寿会 142万1000円、銀の鈴 5万6000円)

＊高齢者施設等物価高騰対策補助金とは。

「電力・ガス・食料品等の物価高騰による上昇分を利用者等に転嫁できない高齢者施設等に対して補助金を交付するもの」

●令和4年度決算

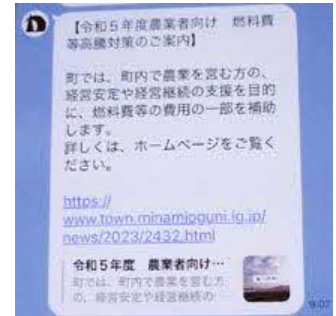
◆一般会計歳入歳出決算書、特別会計歳入歳出決算書(7会計)

【主な審議】

○LINEの運用

▼佐藤議員 現在、町からの一方通行の情報発信しかない。双方向、町民の声が届けられるような機能を拡大する考えは。

【答】 始めて間もない部分がある。まずは町の情報発信を中心に考えていきたい。



町からのLINE発信

加入者数も増やしていく必要がある。双方向の情報発信など機能拡大については、検討していく。

○しごとコンビニ

▼北里議員 人手不足解消となる施策と思うが、実施状況は。

【答】 現在、70名程度が登録。仕事の依頼状況も旅館、農業関係と多岐にわたっている。事業者からの応募数が伸び悩んでいる状況もあり、広報に力を入れていきたい。業務形態はあくまで委託契約となり、職業安定所(ハローワーク)的な仕事の斡旋はできない。

○コンビニ納付

▼穴井則之議員 非常に便利で助かっている方も多いと思う。利用割合は。

【答】 8月末現在、送付した納付書総枚数に対するコンビニ納付の割合は27%。

○小国郷地域公共交通

▼佐藤議員 にじバスは運賃収入が運行経費の5%程度。町としてはタクシー利用費助成事業を拡大した方が町民にとってプラスでは。また、小国郷ライナー(朝・夕1往復、小国郷と肥後大津駅を結ぶ便。1・2月を除く10ヶ月運行)は運賃収入が運行経費の17%。今後期待できる台湾等からの観光客を、小国郷へ誘致するような取組強化をすべきでは。

【答】 にじバスとタクシー利用券の相互利用を期待したが、にじバスが低調なのは事実。小国郷ライナーの運行を拡大するのむひとつの方策と考える。小国郷と協議しながら今後の在り方を模索していきたい。



利用者数が伸び悩む“にじバス”

○就学援助制度・学校給食費

▼森永議員 学校給食費で収入未済額(滞納額)の原因は。就学援助費は入学準備のために、前倒し支給はできないか。また様々な食材等が値上がりしているが、給食費への影響は。

【答】 前年の所得情報が必要であり、6月に認定を行い、7月に支給している。(4・5・6月分を合わせて支給) 収入未済額については、口座振替時の残高不足が原因。現在は完納している。現在のところ、給食費の値上げは考えていない。

○マイクロ水力発電設備

▼穴井則之議員 導入実証事業補助金として500万円支出したが、実施状況は。

【答】 交付先は(株)SMO南小国、湯田地区北二又に設置。有害鳥獣対策用の電柵や電気製品の電力源として活用。今後、運用・実績データをとりまとめ、事業推進や補助制度の創設が可能か判断していきたい。

▼下城議員 過去にも、小水力発電に取り組んでおり、データ等の蓄積もあるのではないか。新たに取組む目的、めざすゴールは。



湯田地区(北二又)に設置されたマイクロ水力発電設備

【答】 町としては、化石燃料に代わる木質バイオマス(ペレットストーブ等導入補助金)、太陽光発電設備等導入促進事業補助金を創設し、再生可能エネルギーの導入推進を行っている。マイクロ水力発電もそのひとつ。今回の実証事業のデータ等を踏まえ、有効な再生エネルギーとなり得るのか判断したい。

▼下城議員 南小国の河川等では難しいのではないかと。撤退する勇気も必要では。

●人事

◆人権擁護委員候補者の推薦

千光寺 橋本 和香美氏

同 意

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

平 嶋崎 俊秀 氏

同 意

Q 3小学校、これからも維持？

A 3校を維持していきたい



佐藤 毅 議員

問 4年前にも質問があった。今も同じ考えか。統合を考える条件はあるか。

町長 現段階では3校を維持していきたい。1、2人の入学者が続けば、統合を議論していく。

問 子どもの数は減少している。5年後入学者が1人の学校も出てきそう。

教育長 県が進める教育は、個別の学びと共同の学び。共同の学びにおいて、少人数はマイナス。保護

者、地域を含めて検討していく。

問 小学校の今後の在り方について、議論を始める時期に来ているのでは。児童数を増やす取組、山村留学や孫ちゃん留学を取入れているか。

町長 協議会設置に関してはやるべき。子育て環境の中での学校の在り方を考える時期に来ている。

Q 公立病院と今後の医療体制は？

A 連携体制を構築し存続をめざす

問 公立病院においてオンライン診療車が導入される。メリットと通院患者以外も利用可能か。運行運用において多くの町民が利用しやすい環境を整えて欲しい。

町長 オンライン診療車を利用すれば、通院の交通費や時間に余裕が生まれる。当初は受診患者が対象。巡回診療の場所は意見を発信していく。

問 町内においてサテライト診療所の開設計画はあるのか。

町長 計画等はない。

問 医療を守る準備が必要。検討を始める時期にあると思う。

町長 将来的に無医療地域にならないように関係者と協議しながら、医療体制の存続への仕組みづくりを考えていく。

Q 厳しい情勢が続く農業を、産業公社等を設立し守れないか？

A 町に適した持続可能な施策を見出したい



穴井 秀房 議員

問 世界農業遺産や観光等の背景であり、また食糧安保のためにも厳しい情勢が続く農業を守ることは大変重要であるが、現状では後継者はおらず耕作放棄地が増え、害獣が闊歩する町になる。

一部の農業法人組織等はあるが、未組織地や山間部の農業等を公社的組織をつくり後継者を育て維持していくことが必要ではないか。



町内の遊休農地の現状

町長 公社については県内では経営状態が良くない。既存農事組合法人、営農組織等に対する町の補助金でその役割を担っていきけるのではと思う。また、(株)SMO南小国の「しごとコンビ二」を活用することで人手不足が解消出来るのではないかと。私としても第一次産業をどうにか盛り上げたいと思うので、町に適した持続可能な政策を見出した。



補助制度活用して設置した電気柵



後藤 六男 議員

Q 攻めの防災と考動する防災！

A 自主防災組織と合同で防災訓練を実施している



現在の総合防災マップ（ハザードマップ）

問 今日の水害の特徴は線状降水帯ではないでしょうか。町としてこの対策を考えているのか。私は自分事として町発行のハザードマップを活用し、自分の住む地域の防災探検をしてみていると思う。見えてくるものがあると思う。

町長 町として災害から命を守るため、毎年自主防災組織と合同で防災訓練等を実施している。また議員提案の防災探検も、防災訓練の内容の一つとして自主防災組織に実施を促したい。



復旧・復興が進む令和2年7月豪雨災害の各現場

ハザードマップは令和6年度に最新の情報に更新したものを作成し、配布予定。

問 河川にはかなりの堆積物があり、除去していく必要がある。予防的措置として、早めに対処すれば被害軽減になるのではないか。

建設課長 河川掘削を含め町内の各河川の改修工事は県庁へ町長と陳情に行き要望等している。災害復旧事業等を含め今後も努力する。

Q 今後のWi-Fi等の通信網は？

A 必要な施策を実施していく



北里 桂一 議員

Q 次世代に残せるまちづくりは？

A 10年間の総合計画を策定している

問 インターネット通信網・衛星通信など、今後の計画は。

町長 インターネット通信網については、様々な施策を講じているが、「まだまだ遅い」といった声がある。予算を含め必要な対策を実施していく。衛星通信は内容や予算面から多面的に協議する。

議員 今後は自動運転やドローン運搬に対処するためにも、衛星放送を含め様々な方法を模索して欲しい。

町長 ネット改善できる手段等を町が町民に対して情報提供してはどうか。

まちづくり課長 最新のスペックに改善する前にまずは、元々の原因を解明できるように調査していく。町民に対しては、ネット改善に資する情報提供等前向きに検討する。

問 中長期的な次世代に残すまちづくりの計画はあるのか。

町長 10年間の総合計画を策定している。また住宅については団地ごとの方針を再計画する。公共下水道においては一部設備が完了している。

問 下水道事業は一部完了とのことだが、特に観光客の集中する黒川地区の下水道計画や公営住宅の今後の在り方について、総合計画

に盛り込んでいくのか。

建設課長 公共下水道に関して、現在黒川地区は旅館等事業者の合併浄化槽での対応が主だが、下水道の整備は生活ラインの基盤でもあるため、住民の意思や意見も踏まえ協議していきたい。公営住宅については長寿命化計画を視野に検討を進める。

議員 ぜひ総合計画に加えて前向きに協議していただきたい。



井野 和哉 議員

Q 再生可能エネルギー開発、町としての対応は？

A 乱開発にならないよう、他町村とも連携を取り対応していく



再生可能エネルギー（風力発電）



大規模太陽光発電（メガソーラー）

問 祖先から受け継がれてきた自然や景観を次世代に引き継いでいく中で、町としてはどのような再生エネルギーを推進していくのか。

町長 大規模な太陽光発電とかではなく、一般家庭の屋根にあるソーラー発電やバイオマス発電など自然・景観に配慮した取組を考えている。

問 新たな条例の制定や町として、自然環境の維持のために「大規模開発はさせない」といったアピールをしていくことも大事では。

町長 条例については、他市町村の情報も収集して制定も検討していく。また、関係課とも協議し対外的なアピールだけでなく、町内へのアピールも行っていく。



補助事業を活用して設置された太陽光発電設備

Q 町の産業構造に合わせて、小中学生に平日の家族旅行休暇を！

A 慎重に検討していく



森永 一美 議員

Q 子育て世帯により一層寄り添った支援制度を！

A 役場内に子育てプロジェクトチームを立ち上げ、支援制度を考えていく

問 本町の就業者の内、宿泊飲食サービス業に従事する方の割合は約29%（全国平均5.6%）。価値観や働き方などライフスタイルも多様化しており、町として2点の対応が必要ではないか。

①役場職員の副業解禁
②小中学生に平日の家族旅行休暇を設けては。観光業は平日が休みとなるが多く、子どもと休みが合いにくい。観光業に従事される方が子どもとゆつくりと向き合う時間を取るためにも、旅行を通じた経験や学びを提供するためにも、平日の家族旅行推進としては、休みが分散化すれば、観光の平準化にも繋がる。

町長 ①先進自治体の検証結果をみていく。②児童生徒の学びの保障も確保する必要はある。学校現場へ聞き取りなどをし、慎重に検討していく。

問 妊娠出産をされる子育て世帯の生活に今後より一層寄り添うため、以下4点尋ねる。①健診等にかかる費用の補助創設。阿蘇地域で出産できる産院がなくなり、出産場所が遠くなった。妊婦さんの状態によっては出産予定日近くになったら産院近くに住むこともある。一時的な住居費用や産院独自の検査等で手出しする分に対して、柔軟に対応できる補助創設を。②南小国版ベビーボックスの創設。生まれきた赤ちゃんへの祝いとして、協賛や特産品等を詰め合わせたベビーボックスを作ってはどうか。③産後ケア事業の更なる周知を。④ファミリーサポートが事業廃止となったが、未就園児を一時的に預けられる場所が必要なのでは。

町長 ①②役場内に子育てプロジェクトチームを立ち上げる。南小国版ベビーボックスの創設も含め、支援制度の充実について考えていく。③妊娠届時や乳児全戸訪問時に積極的に紹介している。④相談窓口を社協に残し、関係機関と連携し適宜対応していく。

Q 農村RMOについて！

A 有効性を判断していく

町長 農村RMOのような自分たちの地域を自らが考え、行動するといった組織体は必要だと感じている。今後、農村RMOが機能し、成功している事例やうまく機能していない事例等を視



農村 RMO (Region Management Organization)



下城孔志郎 議員

Q 社会資本の整備は？

A 総合的かつ長期的に計画していく

問 水道管は敷設後50～60年経っているものもあると思うが、これは土の酸性土等によつて新しいから腐食が遅いというものでない。全国の他の自治体ではAIや衛星による破損・破裂の予測をしていると聞いているが本町での取組をお伺いしたい。

町長 各種配管材料において、敷設後40年を経過しているものは1万1325mあり、耐用年数を超えているものもある。現在行っている南小国町簡易水道基本計画、変更認可設計業務委託を踏まえ、総合的にかつ長期的に計画を進めていきたい。

問 農村RMOとは地域運営組織の略で、農業者やその組織・自治会・社会福祉協議会・公民館・PTA等の組織が連携し、今後の地域の在り方を協議し行動する組織。少子高齢化の中でこのような組織づくりがますます必要となると考えられるが、町の考えをお尋ねしたい。

町長 各種配管材料において、敷設後40年を経過しているものは1万1325mあり、耐用年数を超えているものもある。現在行っている南小国町簡易水道基本計画、変更認可設計業務委託を踏まえ、総合的にかつ長期的に計画を進めていきたい。



穴井 則之 議員

Q フードバンクの充実を！

A 課題を明確にして考える

問 安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で流通に出すことができない食品などを、企業や農家などから寄贈していただき施設や団体、食事に困っている方々などへ無償で提供するフードバンクの充実を図ってはどうか。

町長 現在、南小国町社会福祉協議会も生活困窮者への食品の配布を行っているが、今後取組を広げていくにはネットワークの構築とコーディネート、食品管理ではないかと思う。課題を明確にして考える。



社協に備蓄されている生活困窮者用の食品等

問 家庭菜園の余りなど、野菜のフードバンクはできないか。

町民課長 どのような課題があるかその整理から始めたい。

問 フードバンクを利用した「こども食堂」はできないか。

町長 できたらいいと思うが、運営主体など検討が必要である。



総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は活動の中で、学校教育の重要性を認識し各小学校と中学校を訪問させていただきました。

学校経営の概要説明、意見交換、授業参観、給食の試食等大変意義のある訪問となりました。

町教育委員会がかかげる努力目標とは別に各学校ごとに学習、生活の目標を定め確実に成果を上げていて、子供たちや先生方の努力の様子がうかがえました。

特にどの学校もICTの活用はもちろんのこと、小規模校ならではの教育を十二分に発揮して、全国共通テストでは全国平均を上回る成績を収め素晴らしい結果をだしています。

今回の訪問で、町の将来を担う素晴らしい子どもたちが育っていることを確信することができました。

また、議会としても今後の学校教育に惜しまない協力が必要とあらためて認識した次第です。

委員長 穴井 則之

10月4日 小学校訪問の様子



“積極的に手があがる”授業の様子



経済建設常任委員会

9月定例会において経済建設常任委員会に付託されました、町道131号手形野線の旧道トンネル部分を廃道としたうえで新たに現道部分を再認定する案につきまして、9月13日に現場検証を行い、全委員一致のうえ、提案どおり可決すべきことと決定しました。

旧道トンネルは、大字満願寺字手形野地内に位置する手形野トンネルの真上にあります。

この旧道トンネルは現在は使用されておらず、安全管理や維持費用の点からも廃道とすべきとなったものです。

今後、町道に現状の確認出来ない路線もありますので、見直し等が必要になると思われます。

委員長 穴井 秀房

9月13日 旧手形野トンネル現地視察の様子



南小国町道の現況

路線数：285路線

実延長：317.813km

舗装延長：169.647km

歩道延長：16.717km

管理橋：137橋

トンネル：2本

議会改革

議長 井上 則臣

この度の議会議員改選から早いもので、6ヶ月が経とうとしています。今回の改選では、無投票の結果になりました。町民の皆様の審判を受けずに新体制が発足致しました。

議会は町の未来を開き、町民の皆様の安心・安全ために、より良い町づくりをめざす場です。

二元代表制の議会が、町民の皆様にわかりやすく、緊張感と真剣さに満ちた議会にしたいと、反問権と一般質問における一問一答方式を全員協議会にて協議し決定致しました（今年12月定例会から実施）。また、委員会の内容充実の観点からも、執行部への提案を含め活発な活動を委員長・委員の皆様が真剣に活動を始められています。

一步一步ではありますが、町民の皆様や町執行部と共に進んでまいりますので皆様のご支援、ご協力の程お願い申し上げます。宜しくお願い致します。

＊反問権とは・・・議会の会議において議員からの質問や質疑の趣旨、背景、根拠、考えなどを確認するため、町長や町の職員が議員に質問すること。

＊一問一答方式とは・・・議員が1つの質問事項を質問した後、町長などがその質問事項について答弁を行い、その後に次の項目を質問します。

令和5年 議会日誌

8月	2	奨学生選考委員会	
	18	第4回臨時会	
	22	県町村議会議長正副議長研修会	(写真①)
	23	国道212号改修促進期成会定例総会	
	25	県町村議会議長新議員研修会	
	26	阿蘇瀬の本高原マラソン大会	
9月	29	熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会通常総会	
	2	消防団通常点検	
	5	議会運営委員会	
	8	熊日金婚夫婦表彰式	
	12～15	第3回定例会	
	15	議会広報調査対策特別委員会	
	16	J A阿蘇小国郷畜産共進会	
	19	台湾経済院視察訪問団来町	(写真②)
	24	中九州横断道路 大津熊本道路着工式(合志～熊本)	
	25	小国公立病院議会	
	26	表彰審査会	
10月	27～29	阿蘇市町村議会議長研修会	
	30	福井県池田町行政視察来庁	
	1	「きよらの郷」防犯少年柔道大会	
	4	総務文教常任委員会(学校訪問)	
	6	県町村議会議長議員研修会(オンライン)	(写真③)
	12	総務文教常任委員会(学校訪問)	
	13	在熊阿蘇ふるさと会「かたらんネ!阿蘇2023」	
	16	きよら祭り	
	20	議会広報調査対策特別委員会	
	26	阿蘇広域議会定例会	
	27	議会広報調査対策特別委員会	
		阿蘇市町村議会議員研修会	
	31	県町村議会議長第2回監事会	
		「森林・林業・林産活性化九州大会」	



写真①



写真②



写真③

しもじょう じゅんじ
下城 淳司さん

自然が魅せる美しい感動を皆さんにも…
来る人を自然と共にもてなす秘密の渓谷管理人



プロフィール

農業歴 45 年、2020 年よりマゼノ渓谷の事業代表を務める。

マゼノ渓谷は年に2回しか一般開放されないことから“秘密の渓谷”とも呼ばれ、国内外から多くの観光客が訪れる人気スポットとなっている。

…マゼノ渓谷として一般開放された経緯を教えてください

元々は牛を放牧したり、くぬぎを売ったりと、いわゆる牧野としての活用のみをしていました。

手付かずの自然が織りなすこの渓谷はいつ見ても美しいです。この感動を自分達だけが独り占めするのはもったいない、一般の方にも見てもらってはどうかと、新緑と紅葉の時期の年に2回だけ一般開放を始めました。今年で9年目になります。

…実際に一般開放されてみていかがですか？

最近、春の新緑シーズンの約10日間で1千名の方に、紅葉シーズンの約1ヶ月間で8千名の方にお越しただいています。一番多い時は、1日で1千名来られたこともあります。

年に何度も来られる方も毎年来られる方もありますし、結婚式の前撮りをされたり、ハーブを持ってきて演奏された方もおられました。各地から色々な方が来られて会話できるので当番の日はとても楽しいです。



今年の紅葉時期の一般開放は
10月21日から11月23日を
予定



春の一般開放中はまばゆい新緑
が見る人をたのしませてくれる

…今後についてはいかがですか？

もつと子ども達に来て欲しいと思っています。だから子ども料金は設けていません。子ども達は自然の中で遊ぶのが一番楽しいのではないかと考えています。実際に、枝や葉っぱなど自然の中にある物で遊んでいる子どもさんに「もう帰ろう」と親御さんが声をかけてもなかなか帰りたいがらない風景もよく見かけます。

今後に関わってくださる方々と協力して、マゼノの美しい自然を残していきたいと思っています。



コロナ禍で町観光協会と始めた
1日1組限定「貸切プラン」も好評を得た

写真提供…南小国町観光協会
取材・文…写真…森永一美

編集後記

今年は、様々なスポーツに一喜一憂する1年になりました。

14年ぶりに世界一になった野球は、試合のたびに手に汗握る熱戦が繰り広げられ、日本中が熱狂し大きな感動を与えてくれました。

ワールドカップに出場したバスケットボールとバレーボール男子は、厳しい状況から選手が一丸となって見事、来年のパリオリンピックの出場権を勝ち取ってくれました。

サッカー女子とラグビーは、目標としていた結果は得られませんでした。世界にその存在感を示してくれました。

このように、スポーツには人々に大きな感動や勇気を与える力を持っており、今年再開された県民体育祭にも、町内から5名の選手がそれぞれの競技で健闘を見せてくれました。

子供達の部活動や社会体育も衰退している中、今一度スポーツの持つ力を信じながらこの秋、何か体を動かすことを始めてみてはいかがでしょうか。
(井野和哉)

発行責任者

議長 井上 則臣

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井野 和哉

委員 穴井 秀房

委員 北里 桂一